



新潟県警察

刑事部



警察署 刑事課

巡査部長 2011年採用

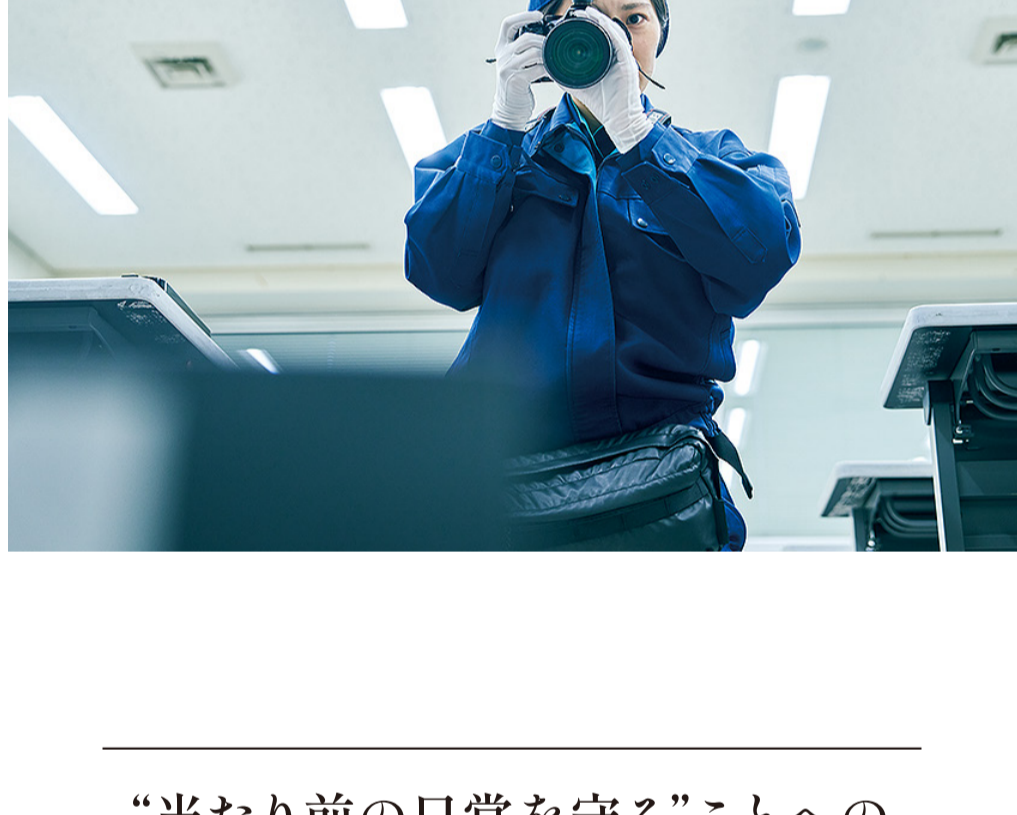
警察官を目指したきっかけ

実家の近くに駐在所があり、幼い頃から制服姿の警察官に憧れていました。巡回連絡や登下校時のパトロール、地域行事への参加など地域に密着した活動をしており、住民から親しまれていました。私もそのように地元の平和を守り、住民の方の安心につながるような存在になりたいと思い、警察官を目指しました。



現在の仕事とやりがい

私は刑事課で鑑識係として活動しています。鑑識係は犯罪の現場を観察し、犯人が残した痕跡を発見、採取し、現場を多方向から写真撮影して記録に残します。犯罪に関係する痕跡を残さず採取するために、状況に応じて採取方法を変えるなど技術と知識、判断力が必要です。現場での失敗は許されないため緊張感を持って活動しており、採取した鑑識資料が犯人の検挙につながったときに強くやりがいを感じます。



“当たり前の日常を守る”ことへの意識の変化

警察官になるまでは、犯罪を身近に感じることもないまま日常を過ごしていました。今では犯罪や様々なトラブルは決して人ごとではなく、発生する可能性はどこにでもあるということを感じています。被害現場では、被害に遭われた方の無念や不安を感じ、当たり前の日常は簡単に奪われていいものではないと強く感じます。私の活動は犯罪を未然に防ぐよりも犯人の検挙のための捜査になります。被害に遭われた方が1日でも早く当たり前の日常を送れるよう、尽力していきたいです。



メッセージ

警察官は、誰かのために尽くせる魅力のある仕事です。日々の業務の中ではやはり大変なこともあります。その分やりがいを感じ、また目標をもって活動できます。警察官は男性社会というイメージはまだ強いと思いますが、女性であるからといって目標が閉ざされるということはありません。

警察官という仕事に興味がある方、性別を問わず、ぜひ受験してみたい方はいかがでしょうか。